
ふくしま創生総合戦略の進行管理等について

令和7年9月8日
復興・総合計画課

1 ふくしま創生総合戦略の進行管理

(1) 趣旨

- ふくしま創生総合戦略（以下「戦略」という。）に掲げた成果目標や施策の重要業績評価指標（KPI）、具体的な事業の取組状況を検証するとともに、外部機関（ふくしま創生・人口戦略有識者会議（以下「有識者会議」という。））において御意見をいただき、戦略における政策の効果を検証し、改善を行うためのものです。（PDCAサイクルの「C」→「A」）

(2) 自己評価

- 戦略の基本目標・基本施策に紐付く事業の取組状況について、事業を所管する各部局による自己評価を実施し、**資料 1 - 2「ふくしま創生総合戦略基本施策評価調書」**により取りまとめています。
- また、成果目標や施策の重要業績評価指標（KPI）の達成状況を確認し、**資料 1 - 3「令和6年度ふくしま創生総合戦略における指標等実績値一覧」**により取りまとめています。

戦略の基本目標	戦略の基本施策【主な取組】
基本目標 1 一人ひとりが輝く社会をつくる【ひと】	(1) 一人ひとりの希望をかなえる【結婚・出産・子育て支援、女性活躍等】 (2) 健やかな暮らしを支える【健康長寿等】 (3) 地域を担う創造性豊かな人を育てる【教育等】
基本目標 2 魅力的で安定した仕事をつくる【しごと】	(4) 活力ある地域産業を支え、育てる【成長産業の集積、地域産業の振興等】 (5) 魅力ある農林水産業を展開する【農林水産業等】 (6) 若者の定着・還流につなげる【若者の就職支援等】
基本目標 3 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる【暮らし】	(7) 安全で安心な暮らしをつくる【地域のデジタル変革等】 (8) ゆとりと潤いのある暮らしをつくる【まちなか活性化、スポーツ】 (9) 環境に優しい暮らしをつくる【地球温暖化等】
基本目標 4 新たな人の流れをつくる【人の流れ】	(10) 地域の多様な魅力を発信する【観光の振興等】 (11) ふくしまへ新しい人の流れをつくる【移住・定住等】

1 ふくしま創生総合戦略の進行管理

※ 自己評価基準

- ・ 達成状況……「達成」・「未達成」の判定。
(R6 最新値が公表されていないものは、予測に基づき「達成見込み」・「未達成見込み」の判定。)
- ・ 見直し判定……「上方」：20%以上上向きの開きがある。
「R12達成」：最終目標値を達成。
「下方」：50%以上下向きの開きがある。
当該項目に該当の場合、指標の見直しを検討する。
(目標値と比較)
- ・ 詳細判定……「改善(+20%以上)」・「やや改善(+10%以上)」・「横ばい」
「やや悪化(-10%以下)」・「悪化(-20%以下)」の判定。(基準値との比較)
括弧書きは最新値がR6より前の数値の場合、基準値と最新値を比較した結果。

(3) 有識者会議における検証・評価

- ・ 客観的な視点からの検証・評価を行う必要があるため、有識者会議委員に検証及び評価を行っていただきます。
- ・ 成果目標の達成に向け、総合的な観点から今後どのような取組（施策レベル）を展開すべきか等について御意見をいただくことで、戦略の成果と課題の明確化を図り、今後の改善につなげます。

(4) 検証・評価の公表

- ・ (2)の自己評価結果及び(3)の有識者会議委員の検証・評価並びに御意見を取りまとめ、県ホームページにて公表します。

2 デジタル田園都市国家構想交付金の活用

(1) 概要

- デジタル田園都市国家構想交付金は、地方公共団体が主体的に策定した「地方版総合戦略」に基づき、地域独自の課題解決や発展を目指す先進的な取り組みを支援（国庫負担1/2）する国の交付金で、外部機関（有識者会議委員）の評価及び評価結果の公表が交付金活用の要件となっています。
- 本県においても、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、戦略の各目標にプロジェクト（事業）として位置づけ、様々な取組を実施し、地域課題の解決や魅力向上を図り、地方創生・人口減少対策を推進しています。

(2) 各基本目標に紐付くプロジェクト（事業）一覧

- 各プロジェクト（事業）の概要及び事業実績等については、資料 1 - 4「令和 6 年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推タイプ・地方創生拠点整備タイプ）活用状況」のとおりとなります。

2 デジタル田園都市国家構想交付金の活用

○ 令和6年度 県事業一覧

●基本目標1：一人ひとりが輝く社会をつくる【ひと】

- スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト
 - eスポーツによる「ふくしま」活性化事業
 - ふくしまプロスポーツ地域活力創出事業
 - スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト
 - いわきの強みを活かした持続可能な地域づくり事業
- 福島県高齢者就業拡大支援事業
 - 高齢者就業拡大支援事業

●基本目標2：魅力的で安定した仕事をつくる【しごと】

- IT人材育成・就業応援事業
 - 女性IT人材育成・就業応援事業
- デジタルを核とした新たな県産品販路拡大プロジェクト
 - 県産品デジタルプロモーション事業
 - 「売れるデザイン」イノベーション事業
- デジタル技術を活用したものづくり企業の働き方改革支援事業
 - デジタル技術を活用したものづくり企業のスマート化支援事業
- ものづくり産業におけるDX人材育成事業
 - ものづくり産業におけるDX人材育成事業
- 知的財産を活用したものづくり企業育成プロジェクト
 - 次世代自動車技術関連企業支援事業
 - 開発型・提案型企業転換総合支援事業
 - チャレンジふくしま中小企業上場支援事業
- 魅力を伝えるふくしま医療関連産業人材育成事業
 - 魅力を伝えるふくしま医療関連産業人材育成事業
- 福島県次世代航空モビリティ・宇宙産業集積推進事業
 - 航空宇宙産業集積推進事業
- 福島発産学官連携による脱炭素社会推進事業
 - カーボンニュートラル推進事業
 - カーボンニュートラル・水素関連産業推進事業
 - ふくしま水素エネルギー人材育成事業
 - ZEH(ゼッチ)技術者緊急人材育成事業
- 福島県産医療機器ステップアップ支援事業
 - 福島県産医療機器ステップアップ支援事業
- ふくしま中小企業者等DX伴走支援事業
 - ふくしま中小企業者等DX伴走支援事業
- 地域課題解決プロジェクト創出支援事業
 - 起業・新事業創出支援事業
- 福島県地域課題解決のための起業家育成促進プロジェクト
 - 起業・新事業創出支援事業
- 農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト
 - ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業
 - 農業繁忙期解消型労働力確保・供給モデル事業
- 農業短期大学施設統合整備計画
 - 農業短期大学施設統合整備事業
- 「ふくしまの宝」をつないで稼ぐプロジェクト
 - ふくしま有機農業ひとづくり強化支援事業
 - 次世代型ふくしまの畜産推進事業
 - ふくしまの元気を作る地域産業6次化推進事業
 - スマート農業プロセスイノベーション推進事業

➤ 右上に続く

「常磐もの」×「いわきFC」Eメールプロジェクト

- 中山間地域からはじめる地域の魅力向上プロジェクト
 - 鳥獣被害対策強化事業
 - 「いなかといいなか」農村関係人口創出事業
 - 「ふくしまあならではの花き」産地育成支援事業
 - みんなでチャレンジ！環境保全型農業拡大事業
 - 果樹園地継承促進事業
 - 福島大学と連携した地域農業モデル創出事業

●基本目標3：暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる【暮らし】

- 多文化共生推進事業
 - 多文化共生推進事業
- 魅力発見。ふくしまローカル鉄道利活用事業
 - 魅力発見。ふくしまローカル鉄道利活用事業

●基本目標4：新たな人の流れをつくる【人の流れ】

- 地域資源活用による観光交流しごと創出プロジェクト
 - 自転車の活用による健康づくり推進事業
 - ふくしま脱メタボプロジェクト事業
 - エクストリームツーリズムブランド強化等事業
 - ふくしまインフラツーリズム推進事業
 - 地域とつながる交流人口拡大事業
 - ふくしまど真ん中まるごと体験周遊推進事業
 - 南会津つながり深化事業
 - 相双地域交流人口・関係人口拡大事業
 - 南会津地域ブランド化事業
- 「転職なきふくしまぐらし。」推進プロジェクト
 - 「転職なきふくしまぐらし。」推進事業
 - パラレルキャリア人材共創促進事業
 - ふくしまぐらし住宅提供事業
 - ふくしまを創る若者のプラットフォーム構築事業
 - 地域を担う移住・定住・関係人口拡大事業
 - 首都圏からの移住推進 & 就職先マッチング支援事業
 - しごと体験からはじめる！会津移住応援事業
 - 南会津UIターン就職促進事業
 - 理想の働き方から考える移住定住促進事業
- 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点事業
 - 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点事業
- 福島県広域連携による人材還流促進プロジェクト
 - ふくしま移住支援金給付事業
 - ふくしまで働こう！就職応援事業

3 各地方振興局による重点施策推進加速化事業の活用

(1) 概要

- 人口減少をはじめとした各地域が置かれている現状や抱える問題は複雑多様であることに加え、本県は震災・原発事故からの復興という難しい課題を抱えており、本庁と各地方振興局が有機的に連携して多角的・総合的に取組を進める必要があります。
- そこで、地域の実情を熟知する各地方振興局が、全庁を挙げて取り組まなければならない地方創生・人口減少対策の重要課題に対して、地域の特色を最大限活かしながら戦略的に取組を「重点施策推進加速化事業」として展開することで、本庁事業との相乗効果を高めながら課題解決に向けた地域力の向上を推進しており、こちらについても有識者会議委員に検証・評価いただくことで、より高い成果が得られるよう改善へとつなげてまいります。

(2) 各基本目標に紐付く地方振興局事業一覧

- 戦略の各目標の達成に向け、重点施策推進加速化事業に基づき各地方振興局が令和6年度に実施した具体的な事業は以下のとおりです。
- 各事業の概要及び事業実績等については、資料1-5「令和6年度重点施策推進加速化事業の効果検証について」のとおりとなります。

● 基本目標1：一人ひとりが輝く社会をつくる【ひと】

○ 県北で活躍する先輩との進路リアルトーク事業

県北管内の高校生を対象に、地域で仕事や活動している方（若い世代）との交流の機会を設け、進路の「選択肢」や「可能性」への気付きを促すとともに、地元で暮らし働くことが将来の選択肢となることを目指す。

県北
地方振興局

○ サウナヴィレッジしらかわ推進事業

県南9市町村全てに存在する「サウナ」をフックとして、交流人口・関係人口の拡大を図るとともに、サウナ利用者へ健康づくりの意識啓発を併せて行うことで、相乗効果を生み出していく。

県南
地方振興局

(次ページに続く)

3 各地方振興局による重点施策推進加速化事業の活用

●基本目標2：魅力的で安定した仕事をつくる【しごと】

○ 県中地域「しごと」×「移住・定住」推進事業

県外在住の福島県出身者や首都圏出身の若年層、県外の移住希望者などを対象に、県中地域とつながるきっかけとなる短期移住体験やお試し就業体験、地域交流体験の機会を提供し、関係人口の創出やU・Iターンの推進、将来的な移住・定住につなげる。また、県内在住の学生等の若年層を対象に県中地域の企業の魅力を発信することにより、定住やUターン就職の促進につなげる。

県中
地方振興局

○ 若者に「伝わる」企業の魅力発見・発信事業

企業の真の魅力（優れた技術力、社会への貢献度、生き生きと働く姿など）を「見える化」し、SNSで発信することにより、地元いわきで働く若者を増加させ、地域産業を支える人材を確保するとともに、市外への人口流出を抑制する。

いわき
地方振興局

●基本目標3：暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる【暮らし】

○ 「会津DX日新館」事業

会津地域13市町村と県内高等教育機関、県等が連携して課題解決を図っていくための持続的な仕組み構築を図る。

会津
地方振興局

○ 会津ツキノグマ人身被害防止プロジェクト

ツキノグマによる人身被害防止対策について、住民自らが自分事として意識を持ち、ツキノグマのことを理解し、リスクを回避していくことが重要であるため、意識啓発・注意喚起を図る。

会津
地方振興局

○ 南会津マイレール意識醸成事業

会津鉄道及び野岩鉄道を地域に欠かすことのできない重要な資源として捉え、鉄道に乗りながら沿線の魅力（人・景色・特産物等）を発見・再認識することにより、マイレール意識の醸成による利用促進と沿線地域の活性化につなげる。

南会津
地方振興局

○ 「水郡線・磐越東線」利活用促進事業

沿線の過疎・中山間地域にとって、ローカル線は重要な資源・財産であり、公共交通の中心である。駅や鉄道を中心とした地域活性化を地域住民が主体となって進め、マイレール意識の醸成を図る。また、沿線地域の魅力を発信し、域外からの観光利用により路線の認知度向上や交流人口拡大につなげる。

県中・県南
地方振興局

●基本目標4：新たな人の流れをつくる【人の流れ】

○ イノベ構想と県北地方の人・企業つながりづくり事業

地域企業や商工会等にイノベ参画の具体的な支援策や先行事例を伝え当事者意識を醸成するとともに、イノベ構想の波及促進と地域企業の参画促進を図る。また、地域の産業などで活躍する企業での体験・見学を通して、子どもたちに「地域のしごと」に対する誇りや愛着心の醸成、さらには県北地域全体に対する興味関心を高め、将来地域を支える人材育成を図る。

県北
地方振興局

○ 南会津移住サポート推進事業

移住先としての南会津地域を効果的に発信するほか、移住希望者へ南会津地域ならではの生活体験を提供することにより、当地域への移住促進を図る。併せて交流会等を実施し定着支援を強化する。

南会津
地方振興局

○ 伝統・食文化をつなぐ！ぐるっとそうそう広域周遊事業

大堀相馬焼等特産品を活用したはしおき広域周遊ガチャ及び地元の特産物・料理を活用した「地酒御集印」広域周遊スタンプラリー等を実施することにより、将来の移住・定住につながる交流・関係人口の拡大、特産品等の物産振興・地産地消の促進、伝統・食文化の継承、地域産業の持続的発展の促進を図る。

相双
地方振興局

○ “合宿”による若者の交流人口拡大・地域振興事業

いわき地域の風土・歴史・恵まれた自然環境・資源をいかした特色のある合宿を造成して、学生団体を誘致し、定着化を図ることにより、地域の魅力を発信するとともに継続的な交流人口の拡大を図る

いわき
地方振興局

4 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用

(1) 概要

- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(以下「臨時交付金」という。)は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者（以下「生活者等」という。）に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせて必要な支援をきめ細やかに実施できるよう、令和5年度から交付されています。
- こちらについても有識者会議委員に検証・評価いただくことで、将来の備えやより高い成果が得られるよう改善へとつなげてまいります。

(2) 取組状況

- 臨時交付金を活用した本県の取組について、国の推奨メニューとして示されている「**生活者支援**」、「**事業者支援**」、「**その他(推奨事業メニュー例よりもさらに効果があると判断する地方単独事業)**」の3つの観点で事業の実施状況、主な事業等を概括的にまとめています。
- 各取組の概要及び事業実績等については、**資料1-6「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金福島県での活用状況について」**のとおりとなります。